



おぐろかずひろ

★ 特定非営利活動法人フレンドシップサイクル協会

代表の **小黑 一弘**

① サイクルスポーツから

自分が携わってきたサイクルスポーツが健康や環境、地域の自然保護など身の回りにある多くの問題点を人々に考えてもらうきっかけになることが分かってきた。では、自分が今住んで生活しているこの地域で活動していこうと考えた。

② 初めての大会

そして、2006年12月に手賀沼、印旛沼、利根川を周回するサイクリング大会、第1回千葉ツインレイクサイクリングを開催した。

③ 地域の特徴を活かして

この大会をNPOの事業として地元の様々な組織と連携し、拡大発展させることは、この地域の問題を提起するとともに、多くの良いところも全国に向かって発信していけることであり、結果として地域の特徴を生かしたビジネスとして確立できると思っている。

1951年6月13日北海道札幌市生まれ。1974年丸石自転車に入社。1996年、当時携わっていたマウンテンバイクのイベント部門を企業内起業として独立。その後、サイクルスポーツに関わるハードとソフト両面のノウハウを生かしてのサイクルイベントを町おこしなどに提案。2002年から全日本実業団自転車競技連盟事務局長も兼任。市民レースの普及活動のためNPOフレンドシップサイクル協会を2006年5月11日に設立。

● 私にとってのCB

地域の特徴を生かしたイベントを開催することで、今まで知らなかった多くの組織があることがわかった。このような組織は横の繋がりが薄く、特定の目的を持って活動しているので継続的に協同作業を行うことは難しいと思っている。しかし、瞬間的なイベントであればできる範囲で関わることが可能。コミュニティビジネスとして確立していくためには、地域の組織との短期的連携プレーを可能にするコーディネーターが

● 起業するための3つの秘訣

自分が持っているノウハウを生かすこと。
新たに習得する時間と費用を考えたらもったいない。

目標が決まったら全ての準備が整うのを待つことなく実行すること。
会社と違って誰かがやってくれることは無い。

地域の組織との情報交換を積極的に進めること。資金力も人もいないNPOは連携できる組織がないと事業は行えない。

★ 特定非営利活動法人フレンドシップサイクル協会

■ 連絡先

①TEL 04-7189-0106

②FAX _____

③E-mail
randi.oguro@nifty.com

④Web

■ 組織概要

① 予算規模 1,700万

② 会員・社員数 10名

③ 事業概要
○サイクリングイベント「千葉ツインレイクエコサイクリング」
○障害者自転車体験試乗会
○MTBサイクルイベント

④ PR

★ イベントスタッフ募集中！！

■ 主に土曜日曜にイベント開催すること多いので、その日だけ来て頂けるスタッフ。アウトドアイベントなので野外活動が苦にならない方。大歓迎！

■ 登録して頂き必要とき連絡して都合が良ければ来てもらう方法です。

■ 大学生など地域に住んでいる方が最適です。